

## ネイティブ・シュードモナス属コレステロールエステラーゼ

Cat. No. DIA-134

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

コレステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名は、ステリルエステラシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

#### 用途

この酵素は、臨床分析においてコレステロールオキシダーゼと結合することで、総コレステロールの酵素的測定に役立ちます。

#### 別名

コレステロールエステラーゼ; コlesteryl ester synthase; トリテルペノールエステラーゼ; コlesteryl ester; コlesteryl ester synthase; アシルコレステロールリバーゼ; EC 3.1.1.13; コlesteryl ester synthase

### 製品情報

#### 由来

シュードモナス属

#### 外観

淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

#### EC番号

EC 3.1.1.13

#### CAS登録番号

9026-00-0

#### 分子量

approx. 300 kDa

#### 活性

GradeIII 100U/mg-固体以上 (安定剤約40%を含む)

#### 混入物

カタラーゼ < 1.0×10<sup>-2</sup>%

#### 等電点

5.9±0.1

#### pH安定性

pH 5.0-9.0 (25°C, 24時間)

#### 最適pH

7.0-9.0

#### 熱安定性

55°C未満 (pH 7.5、10分)

#### 最適温度

40°C

#### ミカエリス定数

5.4×10<sup>-5</sup>M (リノレート), 6.6×10<sup>-5</sup>M (オレート), 3.7×10<sup>-5</sup>M (リノレン酸), 1.5×10<sup>-4</sup>M (パルミテート), 1.2×10<sup>-4</sup>M (ミリスチン酸), 2.3×10<sup>-5</sup>M (ステアリン酸)

#### 阻害剤

Hg<sup>++</sup>、Ag<sup>+</sup>、イオン性洗剤

#### 安定化剤

Mg<sup>++</sup>、ナトリウムコレート、ウシ血清アルブミン

### 保管・発送情報

#### 安定性

-20°Cで少なくとも1年間安定しています